

造血幹細胞移植後のB細胞の再構築と感染症に関する研究

研究対象:

2010年以降に当院にて同種移植を行った患者さん

研究の概要:

本研究は、当院で同種移植を施行された方における主に感染症の頻度に関して解析します。

研究の意義:

同種移植を行った患者さんにおける免疫再構築、特にB細胞系に関するdataは世界的にも乏しく、これまで多数例での長期フォローアップに関する検討はほぼなされていません。現状を把握することで課題を明らかとし、今後のより詳細な解析や将来的な前向き比較試験の基礎データとして意義深いと考えられます。

目的:

同種造血幹細胞移植は血液疾患患者の治療戦略において重要な役割を担っています。その傍らで、同種移植後の感染症発症はその後の罹病率・死亡率に關与する合併症のひとつとされ、感染症発症リスクの軽減は未だ重要な課題となっています。

B細胞は免疫担当細胞の中の一つですが、移植後のB細胞系の免疫再構築に關しては実臨床におけるデータも不足しており、基礎的なB細胞系の指標の推移を明らかにするために本研究を企画しました。

方法:

本研究は後方視的研究になります。また B 細胞のみならず他の免疫に関連したパラメーターと患者さんの背景などとの関連に関して診療録を調査し情報収集を行います。いずれの情報もカルテにすでに含まれているもので、この研究のために新たに患者さんに検査を行うものではありません。

個人情報保護に関する配慮：

個人情報公表されることはいかなる形でもありません。後方視的に過去の診療録を調査するには、個人情報が特定されないやり方で情報を収集します。また、このホームページにおいて本研究を実施することについて公開し、問い合わせ等に応じます。患者さんからのご希望があれば、その方のデータは研究に利用しないように配慮いたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重夫

〒541-8567 大阪府中央区大手前 3-1-69

TEL : 06-6945-1181